

66期生校外学習事前学習

JICA関西

Japan International Cooperation Agency

JICAとは

日本のODAを実施する総合的な開発協力機関

ODA（Official Development Assistance）

1954年日本は国際社会への貢献の手段として
政府開発援助をスタート



もしも、地球上に暮らす人が100人だったとしたら・・・

- 開発地上国で暮らす人・・・82人（約56億人）
- 1日1.25ドル以下の貧しい生活を送っている人・・・17人（約12億人）
- 電気が使えない人・・・18人（約12億人）
- 読み書きができない人・・・13人（約9億人）
- 十分な栄養が取れない人・・・12人（約8億人）
- 安全な飲料水が得られない人・・・11人（約7億人）

●海外拠点

世界約100カ所の拠点が窓口となって、各国のニーズに合った事業を展開しています。





JICAは

ODAの実施機関として開発途上国
に資金的技術的協力を実施

技術協力

有償資金協力

無償資金協力

技術協力

人材育成・制度構築のため専門家の派遣

研修員受入、行政官・技術者・研究者を日本に招く



有償資金協力

長期返済期間・低金利という緩やかな条件での貸付



比較的緩やかな融資条件で、開発途上国に対して資金を供与することにより、その成長・発展を下支えしています。

ケニアでのモンバサ港開発事業

無償資金貸付

返済義務を課さずに資金を供与

学校、病院、井戸、道路、など基礎インフラの整備



カンボジアでの
ネアックルン橋梁建設

国民参加の国際協力

ボランティアの派遣

シニア海外ボランティア（40~69歳） 青年海外協力隊（20~39歳）



小学校でフィラリア症対策の啓発活動を行う
(派遣国：バングラデシュ/活動職種：感染症対策)



地方自治研修所でパソコンの指導(派遣国：タンザニア/活動職種：PCインストラクター)

草の根技術協力

日本のNGOや大学、地方自治、公益法人などが持つ経験や技術を生かして
JICAと共同で開発途上国での協力活動を行う



ケニアの地方都市でも増加するゴミの回収方法を模索する日本の
NGOスタッフとケニアの地元ボランティアたち

世界の人々のためのJICA基金

国際協力に関心のある市民や法人・団体からの寄付の受付

世界の笑顔のためのプログラム

現地で必要とされている教育・福祉・スポーツ・文化に関する物品
を日本で募集し世界各地へ届ける

開発教育支援プログラム

学校の先生、市民を対象に「開発教育（国際理解教育）支援事業」の実施

「国際協力出前授業」 「JICA施設訪問」 「教師海外研修」



青年海外協力隊の体験談を聞いて、遠い外国への理解を深める小学生

大学との連携

国際協力人材の育成、国民の国際理解の促進



大阪大学が研究代表機関を務める SATREPS 案件「薬剤耐性細菌発生機構の解明と食品管理における耐性菌モニタリングシステムの開発」。薬剤耐性菌の遺伝子クローニングに関する研修を行う大阪大学等の日本側関係者とベトナム側若手微生物学者 (2015年 ハノイ市)



大学生が主催する国際協力セミナーに海外経験豊かな講師を派遣

民間企業との連携

民間企業の役割が増大する中、開発途上国で民間企業が活躍しやすくなるように支援



現地関係者に製品を説明する様子 (株)加藤均総合事務所



ひび割れ計測システムの実演 (クモノスコーポレーション(株))

SDGs (Sustainable Development Goals)とは

持続可能な開発目標

2015年の国連サミットで150を超える首脳参加のもと

「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための
2030アジェンダ（行動の目標）」

が採択

“誰一人取り残さない”

SDGs の重要分野 5つのP

人間 (People)

豊かさ (Prosperity)

地球 (Planet)

平和 (Peace)

パートナーシップ (Partnership)

17のゴール

具体的な169のターゲットを設定

全達成を目指して取り組む

17のゴール



1 貧困をなくそう
1日1.25ドル未満で生活する極度の貧困をなくす



2 飢餓をゼロに
すべての人が一年中安全で栄養のある食料を得られるようにする



3 すべての人に健康と福祉を
世界の妊産婦の死亡率を10万人あたり70人未満に減らす



4 質の高い教育をみんなに
すべての子どもが無償で初等・中等教育を修了できるようにする



5 ジェンダー平等を実現しよう
政治、経済などのあらゆるレベルで女性のリーダーシップの機会を確保する



6 安全な水とトイレを世界中に
すべての人が安全で安価な飲料水を得られるようにする



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる



8 働きがいも経済成長も
すべての男女に人間らしい仕事と同一労働同一賃金を達成する

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



後発の開発途上国で安価にインターネットを使えるようにする

10 人や国の不平等をなくそう



各国の下位40%の人々の所得増加率が国内平均を上回るようにする

11 住み続けられるまちづくりを



災害による被災者を大幅に削減し、経済損失を減らす

12 つくる責任
つかう責任



世界全体の1人あたりの食料の廃棄を半減させ、食品ロスを減らす

13 気候変動に
具体的な対策を



国の政策や計画に気候変動対策を盛り込む

14 海の豊かさを守ろう



漁獲を効果的に規制し、破壊的な漁業慣行をなくす

15 陸の豊かさも
守ろう



世界全体で新たな森林や再植林を大幅に増やす

16 平和と公正を
すべての人に



暴力の防止とテロの撲滅のため、国際協力を通じて国の機関を強化する

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



世界の輸出に占める後発の開発途上国のシェアを倍増させる



JICA
PROFILE

カレネジアで日本の支援により整備された水道水に喜ぶ子供たち